



京 町

地域を愛し、豊かな人生を歩む

ために学ぶ子どもの育成

《文責》 校長 小西 郁美

ぎゅうにゅうかみぱっく りさいくる はじ

■牛乳紙パックのリサイクルを始めました。

給食では、成長期にあるお子様に不可欠なカルシウムを効率的に摂取できる牛乳が毎日提供されています。

また、同時にお子様の環境意識の向上と脱炭素社会の構築に向け、久留米市立学校で、紙パックのリサイクルに取り組むことになりました。

本校では、自分で飲んだ分は自分で以下の手順で、リサイクルに努めるようにしています。

「上を開き」→「洗い場ですすぎ」→「広げ」→

「水切りカゴに並べる」



きょうまちにっき

くろう

■「京町日記」・・・なかなか苦勞しています。

本校では、久留米市学力実態調査や全国学力調査で、各学年ともに「書く」力に課題があることがわかりました。そのため、夏休みの宿題にも日記の課題を出ささせていただき、保護者の皆様にもご支援などいただきました。みな一生懸命に見事な文章を書くことができました。ご協力、ありがとうございました。

2学期以降も、2年生～5年生は、毎週火曜日を原則として、「京町日記」を書くようにしています。これがなかなか苦勞をしています。書きたくないのか、ぐちゃぐちゃに線を引っ張ったり、1行しか書いていなかったり、「まとまった量の文章を書く力」を身に付けるには、まだまだ時間と根気が必要なようです。

ただ、すぐに身に付かないから「課題」となっているのですから、もうしばらく、「書く」ことに向き合う時間を取っていきたいと思っています。

6ねんせい

ながさきしゅうがくりょこう

へいわ

かんがえました

■6年生 長崎修学旅行・・・平和について考えました。

10月4日(火)～10月5日(水)で、6年生が長崎へ修学旅行に行きました。

昨年度は、コロナ禍のため、キャンプが日帰りでしたので、小学校入学以来初めての宿泊になりました。

宿泊先がとてもきれいだったので、喜んでくれていたと聞いています。また、「遊ぶときは遊び、学ぶときはしっかりと学び」、学校で過ごす際と同様に、大人の力を借りず、自発的に活動することができたそうです。



11月の縦割り班活動にて、各自が修学旅行について総括をし、発表することになっています。平和の大切

さについて、下級生へ力強いメッセージを送ってくれるものと期待しています。



林田先生の算数の授業を参観しました。授業のめあては、「いろいろな食べもののかずをかけ算で書こう」でした。林田先生は、子ども達が興味を示すように、授業の導入として、チョコレートやゼリーの絵を使った問題を準備して、解き方の説明がありました。さらに、2組のみんなで問題を解くことができるように、「はい、黒板を見ますよ」のように声をかけながら、テンポ良く、授業が進んでいました。また、この授業では、クロムブックを使って問題を解く場面もありました。みんなクロムブックの使い方もとても上手になっています。

【林田みなみ先生が、先生になろうと思った動機を伺いました・・・】

私が、先生になろうと思ったきっかけは、高校の時に漢文を教えていただいた先生との出会いです。

私が高校生の時に、勉強でわからないことは先生に質問をして良い時間が、放課後に設定されていました。自分は、わからないことがあるから先生に質問をするのですが、それでもわかりませんでした。「わかりません」と言うことができずに、わからないまま家に帰るということを繰り返していました。

ある時、当時、漢文を教えていただいていた先生に質問をすると、とてもわかりやすく教えてくださいました。その後、その漢文の先生に教えて頂くといろいろなことが理解できるようになり、テストの点数も伸びてきました。

人との出会いで、こうやって、できないことができるようになったり、わからないことがわかるようになったりすることを知り、自分も先生のように、人の役に立てる仕事につきたいと思いました。

小学校の先生になって3年目です。いろいろ大変なこともあります。でも、子ども達から誕生日のお祝いをしてもらったり、学年の最後にお礼の言葉を言ってもらったりすると、全ての大変だったことが吹き飛びます。

うんどうじょうこうじょうふ えん すはそん 運動場工事用フェンス破損

先にメールでもお知らせをいたしました。現在行われている運動場工事用として、本校の敷地内にフェンスが設置されています。揺らすと音がするためか、登下校中に足でけったり、手でゆらしたりして、写真の箇所を含め数か所で破損しています。全体で注意を促しています。

